

◆飛驒高山高校（岡本キャンパス）

テーマ：商品開発でまちづくり

－飛驒版葉っぱビジネス・えごま茶を飛驒の産業に－

【概要】商業科及び商業研究部では、地域経済の活性化のため企業や諸団体と連携し商品開発を推進してきた。今回、えごまの葉を活用したえごま茶の商品開発の意義と課題について考察し、えごまビジネスを産学官一体で推進することを提案する。

【意見交換を通じたまとめ】

今回の商品開発を通じ、えごまの増産やその独特な性質に対する製茶方法の確立、原材料の調達やえごま茶の特性をPRすること、JAやえごまの研究会、また料亭などを交えて協議会を設置し取り組みを進めることなどを含め、それらのパイプ役の存在や連携の必要性を感じた。



◆高山西高校

テーマ：外国人観光客についての独自調査結果と、
観光都市としての成長への考察

【概要】市における外国人観光客の状況をまとめ、さらにインタビューによる独自調査を踏まえて、高山訪問の目的、傾向、出身地の独自性を考察し、これからの高山の外国人観光客への満足度を向上させるための案を提案する。

【意見交換を通じたまとめ】

目的別ガイドブックの活用について、インターネットと連携し、国別、カテゴリー別、目的別など分類しながら、取り組む必要性を感じる。市は国際観光都市としての市民意識の高揚が大切であり、伝統工芸など高山の特産品等については、歴史や伝統が外国人観光客に理解しやすい取り組みが必要である。地域格差の解消という視点について、市内観光の動線が一体になっていないという課題があり、今後は観光客のニーズに合わせた取り組みや、広域における格差の解消も必要と感じた。



❖第3部 総括（議長）

高校生の皆さんから頂いた意見は、議会として調査研究を行った案件もありましたが、改めて指摘されることで、その重みを感じています。今後も若い方々からの意見を尊重し、意見交換会の継続・改善を含め、取り組むことが重要であります。

今回出された意見は、どれも持続可能なまちづくりに必要な視点であり、皆さんが将来高山に戻られた時、希望のある豊かで文化的に発展できるまちとなるよう我々も取り組んでいきます。

政治には、自立と参加を基本に常に変革する性質があり、皆さんが参加し発言することによって政治は少しずつ変わるはずで
す。18歳選挙権の付与を契機に今回、議場と委員会室等を使用し、議会における審議・審査の形式を通して、政治の流れの一部を経験して頂きました。

高校生の皆さんや関係者の皆様のご協力に感謝を申し上げます。

